

組合会の開催結果（2022年度予算・保健事業・規程等改正）

2月10日（木）に開催されました第174回組合会において、2022年度予算、保健事業等が可決承認されましたのでその概要をお知らせします。

1. 2022年度収入支出予算

(1) 一般勘定

(千円、%)

	2020年度 (実績)	2021年度		2022年度 (予算)	対2021年度(見込)	
		(予算)	(見込)		比	増減
保険料率(%)	8.6	8.6	8.6	8.6	—	—
①収入	4,149,746	4,167,095	4,196,202	4,298,307	102.4	102,105
②保険料	3,997,033	3,953,186	4,083,346	4,100,682	100.4	17,336
③(その他)	152,713	113,909	112,856	77,625	68.8	▲35,231
④別途積立金繰入	0	100,000	0	120,000	—	120,000
⑤支出	3,868,408	4,167,095	3,994,021	4,298,307	107.6	304,286
⑥保険給付費	1,754,289	1,846,571	1,798,182	1,942,670	108.0	144,488
⑦納付金	1,803,588	1,907,409	1,908,164	1,993,406	104.5	85,242
⑧保健事業費	172,749	186,202	168,811	190,871	113.1	22,060
⑨事務所費・組合会費	71,062	90,846	84,466	92,552	109.6	8,086
⑩(その他)	66,720	63,534	34,398	65,806	191.3	31,408
⑪予備費	0	72,533	0	13,002	—	13,002
⑫決算収支差引残額	281,338	0	202,181	0	—	—

<収入>

- ・保険料率は8.6%を継続。
- ・「②保険料収入」は、被保険者数は微増、報酬月額は前年度並み、賞与はやや減少すると想定し、4,100,682千円を計上（当年度見込比100.4%）。
- ・収入支出差引〔(②・③) - (⑥~⑩)〕が▲106,998千円となる見込みのため、別途積立金残高(4,679,000千円)から120,000千円を取崩して「④別途積立金」に繰入れる。

<支出>

- ・「⑥保険給付費」は、当組合のコロナ前の平均伸び率（約108%）、高齢者医療費が増加傾向にあることを勘案し、1,942,670千円（同108%）を計上。
- ・「⑦納付金」は、高齢者医療費の増加等により1,993,406千円（同104.5%）を計上。
- ・「⑧保健事業費」は、特定保健指導の実施率向上、がん検診、脳ドックの健診拡充、疾病未然防止策としてオンライン禁煙プログラム費用の増加を見込み、190,871千円（同113.1%）を計上。
- ・「④別途積立金(120,000千円)」への繰入により生じた「収入支出差引差(▲106,998千円)」との差額13,002千円を「⑪予備費」に計上。

<経常収支>

- ・収入のうち繰入金、調整保険料等、支出のうち財政調整事業拠出金、予備費等除いたものを指す。
- ・経常収入4,111,689千円、経常支出4,221,859千円で経常収支差引額は▲110,170千円の赤字になる見込みのため、上記のとおり別途積立金を繰入れ。

<財政見通し(参考)>

- ・2023年度以降も一定の赤字の継続が想定されるが、別途積立金を取り崩すことで当面の間、現行の保険料率(8.6%)の継続を見込んでいる。

(2) 介護勘定

(千円、%)

	2020年度 (実績)	2021年度		2022年度 (予算)	対2021年度(見込)		
		(予算)	(見込)		比	増減	
保険料率(%)	1.8	1.8	1.8	1.8	—	—	
収 支	①収入	813,660	855,618	861,140	846,711	98.3	▲14,429
	②保険料	579,861	580,278	585,802	585,464	99.9	▲338
	③前年度繰越金等	233,799	275,338	275,338	261,247	94.9	▲14,091
	④支出	530,461	599,934	599,895	571,221	95.2	▲28,674
	⑤介護納付金	530,461	599,884	599,884	571,171	95.2	▲28,713
	⑥その他	0	50	11	50	—	39
	⑦決算収支差引額	283,199	255,684	261,245	275,490	—	—
⑧準備金	95,910	88,049	95,910	95,910	—	—	

<収入>

- ・介護保険料率は1.8%を継続、「②保険料収入」は585,464千円を計上(同99.9%)。
- ・前年度残金261,247千円を「③繰越金」(他に名目計上2千円を含む)に計上。

<支出>

- ・「⑤介護納付金」は571,171千円を計上(同95.2%)。

<決算収支>

- ・「⑦決算収支」は275,490千円の黒字となる見込み(予備費に計上)。

2. 2022年度保健事業

- ・事業主(大同生命)は、次年度も健康経営のトップランナーを目指して一層精力的に取り組むこととしており、健保組合としても事業の効率化を推進するとともに、事業主との協働(コラボヘルス)を一層進め、組合員の健康増進、将来の医療費削減に資する保健事業を重点的に実施する。

(1) 疾病の未然防止	特定健診、特定保健指導	・事業主と協働で実施率向上に取り組む
	がん検診	・被保険者の婦人科系がん検診の受診率向上に向けた取り組みを協働 ・被扶養者(配偶者)の婦人科系がん(乳がん・子宮頸がん)、大腸がんの受診機会を拡充
	脳ドック【新規事業】	・事業主が定める範囲の被保険者のうち希望者に受診費用を補助(上限10000円)
(2) 事業主との協働(コラボヘルス)	禁煙の補助【新規事業】	・事業主(大同生命)と協働で「オンライン禁煙プログラム」を実施
	二次健診の受診勧奨、特定保健指導の参加勧奨	・未参加者への参加勧奨を実施
(3) ヘルスリテラシーの向上	効果的・効率的な施策検討に向け「レセプト・健診結果」等の分析を実施	・外部委託による分析結果から健康リスクや課題を抽出し、事業の企画・立案に活用
	「健保だより」の発行	・保健事業等の情報提供を通じてヘルスリテラシーを向上
(4) その他	「健保組合HP」の改定	・HPの情報を適時更新、わかりやすさの観点から改定を検討
	医療費適正化の取組み	・Web医療費通知の掲載、ジェネリック医薬品の利用を促進
	家庭用常備薬の斡旋	・健康関連商品を斡旋

3. 大同生命健康保険組合規約、規程の改廃

(1) 「被保険者証管理規程」

- ・事務効率化の観点から被保険者資格の喪失等により返納された被保険者証の無効処理を、「穿孔処理」から「組合印部分への無効表示処理」に変更。

(2) 「健診等補助金支給規程」

- ・組合員の健康増進および将来の医療費の削減に向け、被保険者の「脳ドック」補助の開始、被扶養者（配偶者）の「がん検診」を拡充することに伴い改正。

(3) 「会計事務取扱規程」・「財産管理規程」・「システム等運用管理規程」

- ・従来、紙で編綴することとされていた法定帳簿（歳入簿、歳出簿、現金出納簿）ならびに、法定帳簿以外の補助簿、財産台帳等が、2022(令和4)年度分から電磁的記録で保存可能となる。電磁的記録による保存方法および訂正・削除の取り扱いについて改正。

(4) 「経理事務電子計算機処理管理規程」

- ・(3)の改正に伴い廃止。

(5) 「規約」

- ・軽微な文言修正（「処理」→「掌理」）による改正。

○改廃日

(1) 2022年3月1日

(2) (3) (4) (5) 2022年4月1日

○「新旧対比表」参照

以 上
